

「議会のあり方」検討協議会第4回第2部会 協議概要

- 1 日 時 平成24年1月23日（月）午後1時から午後2時58分
- 2 会 場 議会棟 3階 第2委員会室
- 3 出席者 （委員）布施部会長、山田副部会長
川村委員、段木委員、酒井委員、佐々木(友)委員
小田委員
小川委員長、奥井副委員長
（事務局）事務局次長、調査課長 他4人
- 4 傍聴者 （議員）山浦議員、盛田議員
（一般）5人
- 5 協議事項及び協議結果
 - （1）第3回部会における協議概要等について
資料を配付し、了承を得た。
 - （2）「市民参加」について
市民参加の基本理念における現状と課題、具体化するための課題を整理した正副部会長素案を提示し、各委員から意見聴取を行った。

（主な意見等）
 - ・ 情報公開を徹底していくことは、市民参加の第一歩になるのではないか。
 - ・ 国と地方の議会のあり方は大きく違う。それを考慮しながら議論していかなければならないのではないか。
 - ・ 地方は制約を受けていることを考えると、「拡充」より「進展」という言い方が合っているのではないか。
 - ・ 「市民参加」の目的は、市民が参加することで市民自身が幸せになり、満足感を覚えることではないか。
 - ・ 議会からの情報発信と議員からの情報発信があると思うが、区別して議論していかなければならないのではないか。
 - ・ 市民と議会・議員との距離感があり、それを埋めていくことが市民参加として必要ではないか。そこから、より良い住民参加の自治が生まれていくのではないか。

- ・ 「住民意思代表機能が市民に理解されていない、あるいは、弱体化してきている」状況について、どこまで反省に立てるのか、そこを突きつめていかなければいけないのではないか。
- ・ 判断するための意見をどれだけ吸い上げてきたのかが、市民参加の主体になるのでは。説明責任に重きを置いてしまい、政策過程の方を従にすると本末転倒になってしまうのではないか。
- ・ 素案2ページ8行目でいきなり国の現状に話が飛んでいるが、ここは千葉市なりの考えを埋めていくべきではないか。

各委員からの意見を踏まえ、各会派に持ち帰り、次回引き続き協議することとなった。

(3) 今後の開催日程について

次回の部会は、平成24年2月6日（月）午後1時に開催する旨を確認した。